

Sep. 2019

# Gender equality & Poverty reduction

Vol. 7

ジェンダー平等・貧困削減ニュースレター



Cover Photo: JICA / Atsushi Shibuya

## CONTENTS

- .....
1. 巻頭メッセージ：人間開発部基礎教育グループ森下次長
  2. 貧困削減の潮流：Enabler としての金融包摂
  3. 案件紹介①：タイ「メコン地域人身取引被害者支援能力向上プロジェクト」
  4. 案件紹介②アンゴラ「ヴィアナ職業訓練センター能力強化プロジェクト」
  5. コラム：①田中 SA 外務大臣表彰 ②パプアニューギニアにおけるジェンダー主流化支援  
③TICAD 7 サイドイベントシンポジウム開催報告 ④書籍紹介

## 巻頭メッセージ

この原稿を書いている今、TICAD7が開催されています。2019年はTICAD7だけでなく、WAW!、G20など、日本で開催される重要な国際会議が目白押しでしたが、その中で注目を浴びたテーマのひとつが女子教育<sup>1</sup>です。その重要性は、ここ数年、様々な場で言及されてきたものの、日本が主導するG20で大きく取り上げられたことの意義と責任は極めて大きく、身の引き締まる思いです。

女子教育の推進は教育機会の平等に留まらず、乳幼児死亡率や出生率の低下などをもたらすこともよく知られています。しかし、小学校の就学率の男女差が縮小する一方、中学校では依然として大きな格差が残されています。また、学校に通うことのできない子どもの多くが女子であることも忘れてはなりません。

このため、JICAは、女子トイレなどの施設整備だけでなく、例えば、パキスタンでは正規の学校に通うことのできない子どものためのノンフォーマル教育を推進しています。ミャンマーでは、主体性を育む教科書の作成を通じ、算数が好きな女子児童の割合を大きく増加させることができました。PNGでは、女子児童に配慮した指導方法を含む教員用の教材開発に取り組む予定です。

女子教育は、性別に関わらず、1人1人が最大限に能力を発揮し、幸せに生きることができる社会を実現するための第一歩です。国際的な追い風を受けながら、しっかりとした一歩を踏み出すことができるよう、地に足の着いた女子教育の支援に努めていきたいと思えます。

(人間開発部 基礎教育グループ次長 森下 拓道)

## 貧困削減の潮流：Enablerとしての金融包摂

SDGsにおいて、金融包摂は、目標1「貧困撲滅」における主要指標の一つとして明記されている。また、フォーマルな金融サービスの利用は、医療リスクへの対処、農業資機材への投資、効率的な送金等を可能とすることから、SDGsの他の目標の達成のEnablerとしても重要な役割を果たすと考えられている。

例えばGoal3の保健・医療の文脈では、医療施設に預金口座から送金できる仕組み作りや病気に際して緊急融資を受けられるサービスを作り、貧困世帯の医療サービスへのアクセスや利便性を向上しよう、というようなEnablerとしての視点が近年注目されている。

Goal4の教育については、定期的に発生する教育支出(教科書、制服、授業料等)が貧困世帯の家計負担になっていることはこれまでの研究で十分明らかになってきたが、学費を4半期毎に学校に持って行くのではなく、毎日少額を送金し、学費を積み立ていける仕組みができればどうか、或いは、学費支払いや学校の教師への給与支払いがモバイル口座間の送金でできるようにしてはどうか、といった点が議論されている。

ジェンダー貧困室では、今年度、プロジェクト研究「農業及び保健分野におけるイノベーティブな金融包摂アプローチに係る研究」を実施し、Enablerとしての金融包摂の役割がJICAの他課題部案件で検討・導入されること推進していきます。

(社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室 大石 航平)

<sup>1</sup> G20 大阪首脳宣言付属文書「G20 持続可能な開発のための人的資本投資イニシアティブ（仮訳）」  
[https://www.g20.org/pdf/documents/jp/annex\\_10.pdf](https://www.g20.org/pdf/documents/jp/annex_10.pdf)

## 案件紹介①：タイ「メコン地域人身取引被害者支援能力向上プロジェクト」 (2015.4~2019.4) タイの人身取引対策への貢献についてタイ国政府より表彰

グローバル化に伴い人々の移動が活発化する中で、人身取引は国境を越えた各国共通の深刻な問題となっています。東南アジアの国々の中でも比較的経済が発展しているタイは、労働力として外国人の人身取引被害者が連れて来られる「受入国」、自国民が被害者として連れて行かれる「送出国」、外国人被害者が同国を経由して第3国で被害者になる「経由国」という三つの立場で問題を抱え、東南アジアにおける人身取引問題の解決を図る上で最も重要な国といえます。

JICAは2009年から、タイ社会開発人間安全保障省人身取引対策部と共に、ソーシャルワーカー、警察官、司法関係者、入国管理局、労働省、教育・医療関係者、NGOなどで構成される人身取引被害者を救援・保護・支援する「多分野協働チーム」の連携・調整能力の強化などを目的としたプロジェクトを実施。被害者の声に耳を傾け、迅速に、かつ包括的に保護する仕組みづくりを後押しし、被害者自助グループの活動も支援。現場での支援に加え、日本での研修も毎年行いました。

また、タイで保護される被害者の半分以上が隣国からの外国人であり、被害者の帰国後の社会復帰を支援するためには、各国との連携強化が不可欠であることから、計9回に亘りメコン5カ国合同のワークショップを開催し、域内の連携強化を図るための各国の取組を相互共有しました。さらに、2015年からは、タイがカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムといったメコン地域と協働していくための支援も行いました。

これらの活動がタイの人身取引対策に貢献したとして、今年6月5日のタイ国人身取引撲滅デーに、タイ国政府よりJICAに対し、「Outstanding Achievement Award on Prevention and Suppression of Trafficking in Persons」が授与されました。2009年から約10年に及び実施してきたタイにおける技術協力プロジェクトは、今年4月までに終了しましたが、タイで培った知見を近隣国に共有するなど、タイと連携した形での近隣国支援・連携を継続していく予定です。

[JICA トピックス：タイの人身取引被害者と共に歩んだ10年：「国際女性デー」に寄せて](#)

[mundi 2019年3月号：メコン地域におけるJICAの人身取引対策事業](#)



写真：表彰式の様子

(社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室副室長 湯浅 あゆ美)

## 案件紹介②：アンゴラ「ヴィアナ職業訓練センター能力強化プロジェクト」 (2016.4~2019.3) ～女性指導員の活躍～

アンゴラで2016年より実施してきた「ヴィアナ職業訓練センター能力強化プロジェクト」が、この8月に終了しました。プロジェクトでは、ブラジルの専門家と協力しながら、日本が無償資金協力で施設・機材の整備を支援したヴィアナ職業訓練センター（通称 CENFOC）で、建設施工、構造物鉄鋼、測量の3つのコースを開発し、実施してきました。

プロジェクトで技術移転を受けた指導員が、他の指導員にも技術を伝えることによって、フルスケールで訓練を提供できるようになるなど、成功裏にプロジェクト完了を迎えましたが、実はプロジェクトのデザインとして明示していなかった点についても大きな成果がありました。それは、インクルーシブな職業訓練の好事例となった、という点です。男性中心の業界である建設分野の技術が対象のコースですが、パイロットコースの実施で大活躍したのは女性指導員のアントニエタさん。その後、プロジェクト終了までに対象コースを指導する女性の指導員がアントニエタさんを含めて3名に増えたり、これまで女性の受講生がほとんどいなかった建設施工コースに4名の女性が在籍するなどの変化が見られました。また、足に障害があり車いすを使用している人が訓練を受講したことで、実習を通してセンター内の施設をバリアフリーにするなどの取り組みがなされました。今後も CENFOC が、高い技術力のみならず、インクルーシブな職業訓練センターとして、アンゴラの社会により影響を与え続ける存在であり続けることを願っています。



女性訓練生と話すアントニエタさん（左）

（人間開発部 社会保障チーム 山中嶋 美智）

## コラム①：田中由美子 JICA シニア・ジェンダー・アドバイザーが令和元年度 外務大臣表彰を受賞！

[外務大臣表彰](#)は、日本と諸外国の友好親善関係の増進において特に顕著な功績のあった個人や団体が受賞します。

田中アドバイザーは、国連工業開発機構、国連アジア太平洋経済社会委員会職員を経て、約30年間 JICA 国際協力専門員（ジェンダーと開発）を務めるとともに、ネパールやタイで JICA 専門家としてコミュニティ開発・人身取引対策等に携わり、我が国 ODA 事業におけるジェンダー主流化促進に貢献されました。また、国連ウィメン日本協会理事、アジア開発銀行外部有識者、内閣府ジェンダー平等委員、外務省ジェンダー主流化委員等、政府機関、NGO 等の各種委員を歴任し、2017年より国連女性の地位委員会日本代表を務めていらっしゃいます。改めましてこれまでのご貢献に感謝するとともに、益々のご活躍を祈念いたします。

### 【田中アドバイザーから一言】

この受賞は、JICA が長年にわたり事業及び組織のジェンダー主流化を誠実に進めてきたことに対して評価をしていただいたのだと思います。とはいえ、まだ開発途上国のジェンダー課題が解決したわけではなく道半ばですので、皆さんと一緒に一層の取組、新しいチャレンジをしていきたいと思っています。



(社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室副室長 湯浅 あゆ美)

## コラム②：パプアニューギニア（PNG）におけるジェンダー主流化支援 ～gender responsive な理数科教育に向けて～

PNGでは、家父長的な社会規範・価値観や男女の固定的な役割の意識が強く、ジェンダー不平等指数（GII）は160か国中159位、女性の国会議員が一人もいない等、社会のジェンダー不平等は世界で最も深刻な状況です。このような女性の低い地位<sup>2</sup>を背景に、女性に対する暴力についても深刻な課題です。また、教育における男女格差が大きく、初等教育最終学年進級率は男女格差が12%（女子72% 男子84%、UNESCO2016）と、女子の中等教育への移行が大きな課題です。

こうした中、人間開発部基礎教育グループ主管の PNG「初等理数科教員養成校強化プロジェクト」の詳細計画策定に先立ち、同事業のジェンダー活動を検討するために、6月下旬にジェンダー主流化に向けた調査を当室で行いました。

現地調査では、教育省行政官、教員養成校教官・学生、小学校教員から、女性を取り巻く環境、ジェンダー視点に立った理数科指導の実践状況、教室での男女学生の様子等について聞き取り調査を行いました。

調査では、養成校にはジェンダー平等に係るマニュアルや研修機会がなく、実習の評価シートにジェンダー平等に係る項目がないこと等がわかりました。また、ジェンダー平等や男女の役割についての人々の考え方は、出身村落によるところが大きく、家父長的な社会規範が強い村落出身の男女は、女性の役割、女性の能力等に関して、ステレオタイプ（女性は従属的な立場、男性より低い地位、劣った能力等）を内面化しており、強いジェンダーバイアスを持っていることもわかりました。このような家父長的な価値観が強い村落で育った背景をもつ女子学生たちは、自分の能力に対する自信や、挑戦してみようとする姿勢を

<sup>2</sup> 女性や少女を金銭や家畜等の贈答品と交換できるモノとして捉える考えに基づく女性の低い地位が背景にある。

持ちづらい現状があり、理数科指導においては、上述のようなステレオタイプに縛られないよう、積極的な姿勢を促し、自信を持たせる指導のニーズがあることもわかりました。

このような調査結果を踏まえて、教員養成校でジェンダーレスポンスな理数科指導ができるような教材開発や研修実施を進めること等を計画しています<sup>3</sup>。今後、JICA が広く行っている他の理数科教育関連事業のジェンダー主流化推進に繋がる意味のある一歩となったのではないかと思います。



(社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室 京 由香)

### コラム③：TICAD7 サイドイベント シンポジウム開催報告「女性と少女が変えるアフリカの未来～ビジネスを通じた社会変革の可能性～」

8月28日～30日の間、第7回アフリカ開発会議（TICAD7）が横浜にて開催され、150を超える多くのサイドイベントが催されました。ジェンダー平等・貧困削減推進室は、横浜市、外務省との共催で、女性をとりまく社会課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進をテーマに、シンポジウム「女性と少女が変えるアフリカの未来～ビジネスを通じた社会変革の可能性～」を、8月28日にパシフィコ横浜にて開催しました。

基調講演には、世界銀行副総裁やナイジェリア財務大臣を歴任したヌゴジ・オコンジョ・イウェアラ氏が登壇し、アフリカの女性たちは着実に前進してきている一方、質の高い教育へのアクセスや経済的な自立、意思決定への参画など、様々な課題に直面していると述べるとともに、女性と男性が連帯して社会変革を起こしていくことの必要性を力強く訴えました。

続くパネルディスカッションでは、アフリカ3か国（ガーナ、ウガンダ、ナイジェリア）と日本で活躍する社会企業家などがパネリストとして登壇しました。低価格で環境にやさしい生理用ナプキンの生産や、女子を対象としたプログラミング教育と人材育成、妊産婦が気軽に医療相談ができるアプリの開発、シングルマザーの就労や自立支援など、各国で女性や女子が直面するジェンダーの障壁を取り除くことに

<sup>3</sup>具体的には、①教室内のジェンダー平等性確保に向けたチェックリストの作成、②ジェンダー視点に立った教育実習用の授業評価シートの作成、③効果的な女子学生への理数科指導に関する教材の作成、④ジェンダー平等に関する研修の実施、⑤養成校学生向けの教育実習用の教材作成。

取り組む様々なビジネスの事例が紹介され、その役割や可能性が議論されました。

モデレーターを務めた田中由美子シニア・ジェンダー・アドバイザーからは、ソーシャルビジネスへの関心が高まる一方、女性をとりまく社会課題の解決に取り組むビジネスは後回しになりがちであることが指摘されるとともに、ジェンダー視点にたったソーシャルビジネスを実施するためには、女性の置かれている状況や直面している課題に気づき、可視化するセンス、そしてそのような状況の改善や課題の解決に向けた強い意志とリーダーシップが不可欠であることが強調されました。

女性を巻き込みながら、女性の課題解決に取り組むビジネスを推進していくため、政府・援助機関・民間企業・市民社会など様々なアクターが協力し合い、新しい発想で、行動をダイナミックに起こしていくことが求められています。



(社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室 宇佐美 茉莉)

## コラム④：書籍紹介

### ソーシャルワーカーのための女性支援ガイドブック

女性の暮らしやすさを考えるソーシャルワーク研究会＝編著

現在の女性の生き方は多様化し、人生の節目である結婚や出産に対する考え方も大きく変化しました、結婚して家庭に入り子育てに専念するという生き方の一方で結婚はせずに仕事に専念する、子どもを産む、産まない等生き方は様々です。どのような選択をしてもさまざまなライフスタイルの変化、ライフイベント毎に女性は心理的な葛藤を抱えやすいと言われています。

本書は、主には DV 当事者の支援に携わってきたソーシャルワーカーが中心となって立ち上げた研究会によって作られました。

誰にも話せない夫の暴力をどう俎上にのせるのか…ひとりで抱え込む育児にどう道筋をつけるのか…更年期に重なる老親の介護にどう伴走するのか…など、年代ごとに立ち現れる女性が抱える困難さを整理し、活用できる社会資源を網羅的に紹介しています。

女性が自分らしく生きるために、支援をする人にも多くの女性自身にとっても生きづらさを上手に乗り切る一助として本書を活用頂けると幸いです。



(評価部 事業評価第一課 齋藤 有香)

## <ジェンダー/金融包摂案件、関連広報のリンク>

- ・ PNG 【JICA aims to promote gender-responsive teaching and learning in mathematics and science in PNG】  
[https://www.facebook.com/permalink.php?id=756578997714721&story\\_fbid=2435905059782098](https://www.facebook.com/permalink.php?id=756578997714721&story_fbid=2435905059782098)
- ・ アンゴラ 【アンゴラ共和国：建設分野で輝く女性指導員】  
<https://www.facebook.com/jicapr/posts/2250757948293673/>
- ・ カンボジア 「女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化プロジェクト」  
<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>
- ・ ベトナム 「被害者支援及びカウンセリングのための人身取引対策ホットライン運営強化プロジェクト」  
<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/047/index.html>
- ・ ミャンマー 「人身取引被害者支援能力向上・協力促進プロジェクト」  
<https://www.jica.go.jp/project/myanmar/032/index.html>
- ・ パキスタン 「シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善支援プロジェクト」 <https://www.jica.go.jp/project/pakistan/006/outline/index.html>
- ・ アルバニア 「小規模農家金融包摂プロジェクト」  
<https://www.jica.go.jp/project/albania/003/outline/index.html>
- ・ ホンジュラス 「金融包摂を通じた CCT 受給世帯の生活改善・生計向上プロジェクト」  
<https://www.jica.go.jp/project/honduras/005/index.html>

## 終わりに

ニュースレター第7号はいかがでしたでしょうか？読者の皆様からのコメント・感想をお待ちしております。

(編集：京 由香)  
 (デザイン：泉 貴広)